

須木中だより

第18号 平成31年3月6日発行

啓蟄

3月6日は「啓蟄(けいちつ)」。二十四節気の一つで、『春の陽気を感じ、地中で冬ごもりをしていた虫が動き出し、はい出してくる』と意味があります。

いよいよ旅立ちの季節です。

4月に1年生を迎えた入学式から、もうすぐ1年が経ち、卒業式の季節がやってきました。一年間、子どもたちは一步一步着実に成長してきたと感じています。



「卒業」それは、新たなステージの「始まり」

さて、今年度は12名の3年生がたくさん思い出を心に刻み、須木中を巣立ちます。

3年生のみなさん、16日(土)の卒業式では、自信と誇りをもって、成長した自分を輝かせる最高の日にしてください。そして、これまでお世話になった方々への感謝の気持ちをしっかり伝えてください。

1、2年生のみなさん、卒業式では3年生から託される思いをしっかりと受け止め、3年生の門出にふさわしい最高の舞台にしてください。そして、これまでお世話になった先輩に感謝の気持ちを伝えてください。

3月16日。全員の力で素晴らしい日になることを願います。

3年生の保護者のみなさまには、これまで中学校生活3年間、子どもさんを温かく励まされ、また、本校の教育活動に対してもご支援をいただき心から感謝しております。ありがとうございました。

家庭教育学級、お疲れ様でした

第7回研修講座及び閉級式が、2月21日(木)に開催されました。最終回となる今回の講師は、今月末でご退職される須木小学校の小林雅彦校長先生。常に前向きな気持ちで子どもたちの教育に携わってこられたことが伝わるお話でした。また、閉級式では今回で義務教育での子育てを終えられる方々に修了証が贈られました。

一年間、運営に努力された学級長の水谷麻美さん、副学級長の片地亜理沙さん、さらに主事として支えてこられた小学校の矢野教頭先生、中学校の中窪教頭先生、ありがとうございました。



「厄払い寄付金」に感謝

1月31日(木)に、平成6年3月卒業生同窓会(代表者 八重尾克哉様)の皆様方より、厄払い記念として寄付金をいただきました。

この日、八重尾克哉様と海老原美穂様のお二人が代表で来校され、贈呈式を行わせてもらいました。また、校長室にある当時のアルバムをご覧になり、たいへんつかしく感じてらっしゃいました。

寄付金につきましては、本校の教育活動及び施設の充実等に役立てたいと思います。

ありがとうございました。



3年生に「しおり」をいただきました



2月18日に小林地区更生保護女性会の伊藤美智子様と桑原エイ子様が来校され、3年生へ卒業記念として「しおり」を贈呈していただきました。毎年、あたたかいご支援に感謝しております。ありがとうございました。

2月13日(水)に小中合同「立志式」を開催しました。小学5年生、中学2年生全員がりっぱにこれからの抱負を述べてくれました。4月からは、それぞれの学校の最高学年としてさらに頑張ってくれることと思います。

記念講演では、小林市食と農の魅力創生シェフ地井潤様のお話と試食を体験することができました。ご参加いただきました保護者、地域のみなさま、ありがとうございました。

須木小・須木中合同立志式



サイネリアが順調

に育ってきています。用務員の間先生が夏に種をまき、丁寧に育ててこられています。

約50鉢の花が卒業式の会場を華やかに盛り上げてくれることと思います。ありがとうございました。

